

令和 7 年度 三重県高等学校剣道春季大会

期 日
令和 7 年 4 月 27 日（日） 10：00 開会式

会 場
亀山市西野公園体育館

主 催
三重県高等学校体育連盟

共 催
三重県教育委員会

主 管
三重県高等学校体育連盟剣道専門部

競技役員

会 長	嶋田 和彦			
専門部長	今高 成則			
来 賓	山村 勝弘	阿形 克己	濱田 和義	
委 員 長	尾上誠一郎			
副委員長	山口 一	緒方美穂子		
審 判 長	河合 貞志			
副審判長	前 義典			
審 判 員	三重県高等学校体育連盟剣道専門部審判員 他			
救 護	實平 貴雄			
補 助 員	白子 高校	鈴鹿 高校	三重 高校	鈴鹿 高専
会場責任者	寺下 伸			

大会・試合要項（抜粋および追加・変更点）

1. 日程 4月27日(日) 8:30 開場、選手・役員・観客入場
9:00 練習・竹刀検量開始
9:30 審判会議(会議室)
9:50 顧問会議(フロア中央)
10:00 開会式
2. 運営方法 ① 第1・3試合場 男子団体1回戦～準々決勝
第2・4試合場 女子団体1回戦～準々決勝
② 第1・3試合場 男子団体準決勝
第2・4試合場 女子団体準決勝
③ 第1試合場 男子団体決勝
第2試合場 女子団体決勝
3. 試合要領 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、全国・三重県高体連剣道専門部申し合わせ事項による。
- a. エントリー
- 【団体戦】男女とも次のいずれかの通り。
- i. 各校1チーム(3名以上8名以内の選手)を登録する。登録選手が4人の場合は「次鋒・中堅・副将・大将」、3人の場合は「中堅・副将・大将」に選手を登録する。
- ii. 1名または2名で出場を希望する学校は、事務局により合同チームを作成する。オーダー順は学年・段位を考慮し、事務局で決定する。
- b. 試合方法
- 【団体戦】男女とも決勝までトーナメント戦を行う。試合時間は4分とし、以後引き分けとする。チームの勝敗は、勝者数・総本数の順で決する。チームの勝敗が決しない場合は代表者戦を行う。出場選手5名のうち任意の1名による4分1本勝負とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本を取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は4分とし、延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「休息」・「休憩」を交互に繰り返す。
- 「休息」・・・立礼の位置まで下がらせて深呼吸させる。試合再開までは1分程度を目途とする。

「休憩」・・・選手を選手席に戻し、面を外させて給水させる。試合再開までは4分程度を目途とする。審判員も一度審判員席に戻る。

c. 選手の変更

補欠との交代を行う場合は、所定の変更用紙に記入し本部記録に届けた後、試合場の係に提出すること。なお、オーダー順の変更および交代により不出場となった選手の再出場は認めない。

d. 4人及び3人のチームと対戦する5人及び4人のチームは、「オーダー順申告届」を前の試合の次鋒戦が終わるまでに試合場の係に提出する。

e. 合同チームについて

- i. 合同チームの参加を認める。4人及び5人の合同チームと3人及び4人の単独校チームが対戦した場合、合同チームが単独校チームの人数に合わせて試合をする。
- ii. 合同チームの選手で当日欠席があり、2人以下のチームになった場合も、1試合だけ行う。
- iii. 合同チームがベスト8以上に入賞した場合、そのチームの次回大会のシードは空ける。空いたシード枠は上につめる。

4. その他

a. 竹刀検量は、準備ができ次第体育館内で行う。

※男子480g以上、女子420g以上。

※先皮の長さは先端より5cm以上。先細の竹刀については使用を禁止とする（男子26ミリ以上、女子25ミリ以上）。

b. 1階フロアに入れるのは、剣道部員、引率者、審判員、来賓、大会役員、大会関係者のみとする。

c. 学校名、名前を明記した名札を必ずつけること。

d. 面シールド、もしくは面マスクを着用してください。

e. 大会中の傷害について応急処置はするが、その後の責任は負わない。

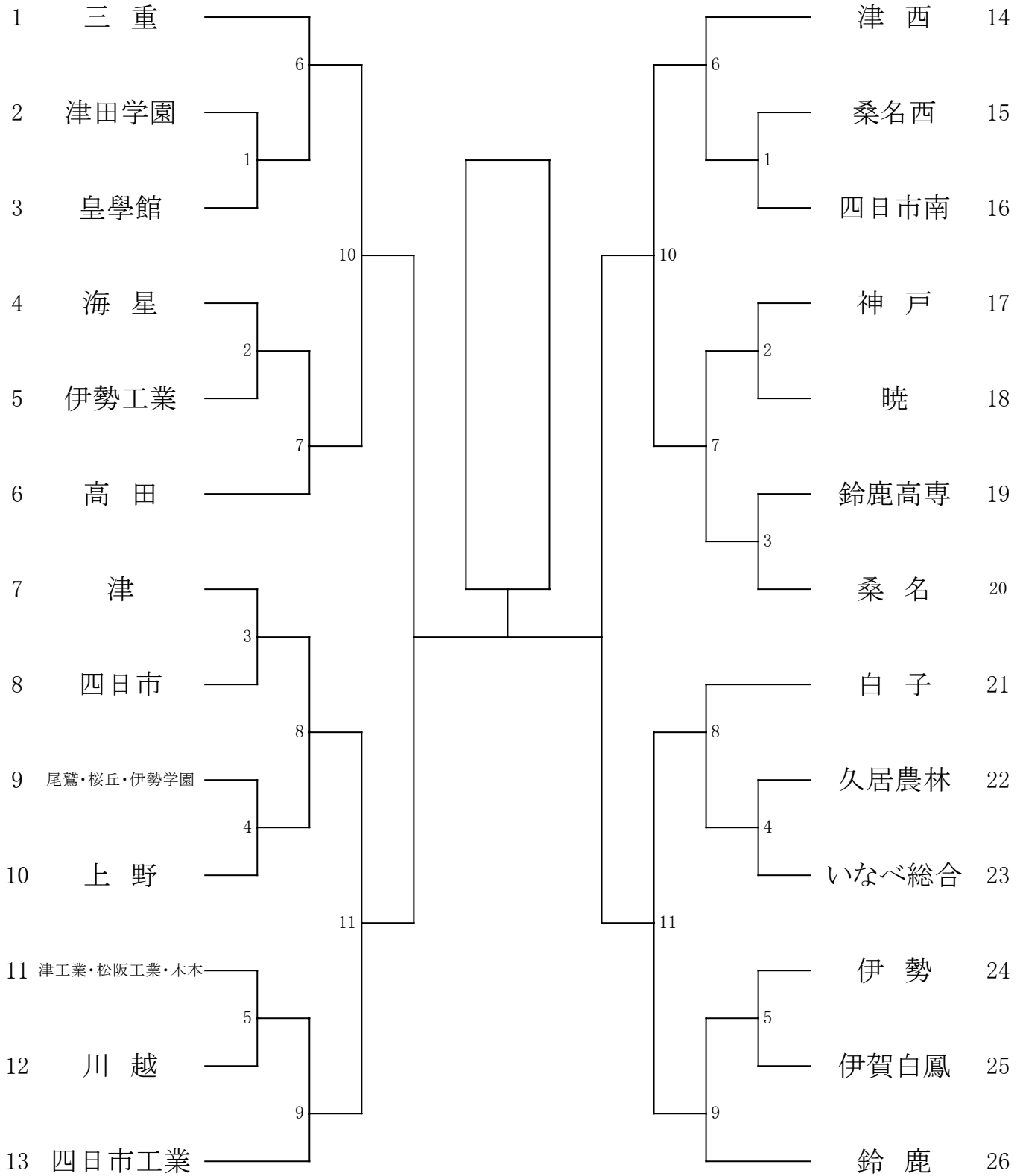
f. 面ひもは結び目から40cm以内にしてください。そのほか、事故防止のため剣道具の点検をお願いします。

g. 1階フロア内での動画撮影は禁止する。2階観客席で行うこと。

R7 春季大会 男子団体

第1試合場

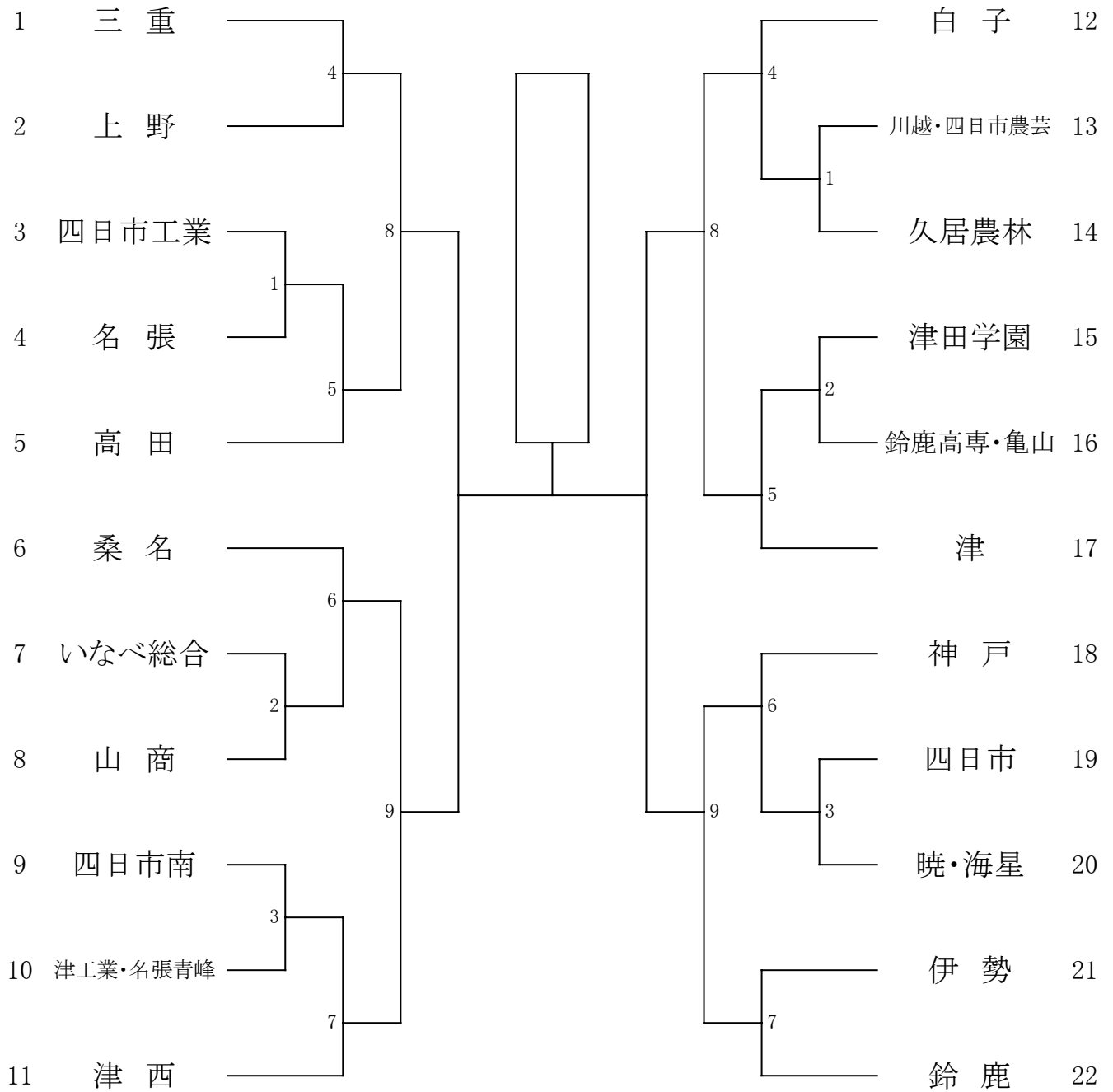
第3試合場



R7 春季大会 女子団体

第2試合場

第4試合場



男子団体 登録選手

	学校名／監督	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	補欠	補欠
1	桑名高等学校 大橋 美和	高木 朔 (3 年・ 陵 成)	黒澤 涼真 (2 年・ 正 和)	古市 圭 (2 年・ 山 手)	若林 奏佑 (3 年・ 陵 成)	野口 暖希 (3 年・ 陽 和)	山本 靖大 (2 年・ 陵 成)	若林 隼平 (1 年・ 陵 成)	片山 瑛大 (1 年・ 川 越)
2	桑名西高等学校 富田 裕美	(年・)	稲垣 拓真 (2 年・ 正 和)	土屋 颯大 (2 年・ 員 弁)	近藤 優河 (3 年・ 陵 成)	加藤 祐也 (3 年・ 陵 成)	(年・)	(年・)	(年・)
3	いなべ総合学園高等学校 岩出 和樹	岡本 悠希 (3 年・ 大 安)	高木 琥央 (1 年・ 陵 成)	渡邊 流聖 (1 年・ 陵 成)	日沖 凱斗 (3 年・ 大 安)	太田 凌介 (2 年・ 明 正)	野村 悠斗 (1 年・ 大 安)	早咲 壮馬 (1 年・ 陽 和)	西脇 蒼太 (1 年・ 保々)
4	四日市高等学校 日沖 純也	水谷 伍希 (1 年・ 東員第一)	笠井 健太郎 (1 年・ 陽 和)	宮島 汰成 (1 年・ 陵 成)	谷口 晴太 (2 年・ 菰 野)	北原 遙之 (3 年・ 川 越)	重松 遼星 (1 年・ 久居東)	竹内 理人 (1 年・ 光 陵)	(年・)
5	四日市南高等学校 西 康平	出口 稟玖斗 (1 年・ 大池)	長谷川 純大 (3 年・ 笹 川)	大西 航平 (2 年・ 菰 野)	長野 成吾 (1 年・ 大池)	白井 颯真 (3 年・ 菰 野)	(年・)	(年・)	(年・)
6	四日市工業高等学校 大澤 伸高	中道 幸之介 (2 年・ 亀 山)	山中 恒輝 (2 年・ 山 手)	櫻井 竜規 (2 年・ 亀 山)	松岡 倅汰 (3 年・ 陽 和)	實平 眞虹 (3 年・ 亀山中部)	坂元 望夢 (3 年・ 白 鳥)	奥村 龍成 (1 年・ 正 和)	堀端 陽来 (1 年・ 神 戸)
7	川越高等学校 中村 有希	郡 陽太 (2 年・ 明 正)	鯖戸 瑛慎 (3 年・ 光 陵)	松岡 優希 (1 年・ 光 風)	杉本 真隆 (3 年・ 明 正)	玉木 輝正 (3 年・ 常 磐)	小林 大地 (1 年・ 陵 成)	川村 皐太 (1 年・ 羽 津)	(年・)
8	神戸高等学校 沢田 貴昭	池田 龍彦 (2 年・ 白 子)	大念寺 正樹 (2 年・ 南)	市川 和樹 (2 年・ 白 鳥)	清原 壮真 (2 年・ 山 手)	太田 陸都 (3 年・ 常 磐)	増田 颯斗 (3 年・ 常 磐)	古川 怜央 (2 年・ 鼓ヶ浦)	山内 煌士郎 (2 年・ 創 徳)
9	白子高等学校 多賀 弘貴	川村 陽向 (3 年・ 久居東)	川瀬 陽大 (3 年・ 山 手)	長曾 脩雅 (3 年・ 緑ヶ丘)	粕谷 智大 (3 年・ 嬉 野)	宇恵 遥来 (2 年・ 嬉 野)	古屋敷 憲吾 (3 年・ 大 木)	古市 有理 (3 年・ 久居東)	伊藤 秀愛 (2 年・ 橋 北)
10	津高等学校 小西 大亮	(年・)	尾市 友祐 (2 年・ 橋 北)	峡下 陸 (2 年・ 久居東)	川極 義弘 (3 年・ 大山田)	矢田 侑雅 (3 年・ 神 戸)	(年・)	(年・)	(年・)
11	津西高等学校 山下 隆史	小柳 聡太 (2 年・ 南が丘)	北畑 太雅 (2 年・ 東 観)	梅村 空芽 (2 年・ 多 気)	山下 輝隆 (3 年・ 明 和)	大河内 壱才 (3 年・ 朝 陽)	渡邊 陽煌 (3 年・ 明 和)	船木 悠佑 (3 年・ 附 属)	辰己 煌生 (2 年・ 神 戸)
12	久居農林高等学校 浅野 理恵子	(年・)	鈴木 魁李 (1 年・ 明 和)	兒玉 樹哉 (3 年・ 鼓ヶ浦)	中村 優斗 (1 年・)	脇田 翔猷 (3 年・ 久居東)	(年・)	(年・)	(年・)
13	伊勢高等学校 服部 壮汰	飯野 光彦 (2 年・ 厚 生)	伊藤 大貴 (2 年・ 度 会)	山崎 舜介 (2 年・ 小 俣)	西本 晴俊 (3 年・ 厚 生)	西川 琥大郎 (3 年・ 小 俣)	上嶋 海久斗 (1 年・ 御 薗)	山本 凌大 (1 年・ 小 俣)	(年・)
14	伊勢工業高等学校 中村 勤	本田 純平 (3 年・ 御 薗)	片山 楓 (3 年・ 鳥羽東)	中川 了斗 (2 年・ 御 薗)	奥田 侑杜 (2 年・ 松阪中部)	寺田 壮磨 (3 年・ 港)	田嶋 慶也 (1 年・ 小 俣)	(年・)	(年・)
15	上野高等学校 嶋田 崇志	飯田 悠人 (3 年・ 名 張)	稲森 蒼士 (1 年・ 阿 山)	下栗 彩矢 (3 年・ 城 東)	塚本 遥大 (2 年・ 名張南)	戸井田 ユウキ (3 年・ 崇 広)	(年・)	(年・)	(年・)
16	津田学園高等学校 熊澤 一衛	島田 颯 (2 年・ 陵 成)	佐賀 暖太 (3 年・ 山 手)	伊藤 剛生 (2 年・ 保 々)	小林 麗人 (3 年・ 四日市南)	斎藤 敬太 (3 年・ 陽 和)	(年・)	(年・)	(年・)
17	暁高等学校 森 康輔	小林 道俊 (2 年・ 明 正)	濱田 健介 (1 年・ 暁)	濱野 冬悟 (2 年・ 暁)	寺本 純士 (3 年・ 富 田)	上田 隆瑛 (3 年・ 暁)	谷川 遼介 (1 年・ 暁)	安井 琥太郎 (1 年・ 暁)	(年・)
18	海星高等学校 小川 貴之	鈴木 蒼良 (3 年・ 常 磐)	稲垣 雄弥 (2 年・ 海 星)	坂本 晴斗 (3 年・ 常 磐)	水谷 隆誠 (3 年・ 山 手)	滝 慶祐 (3 年・ 海 星)	井爪 優吾 (3 年・ 海 星)	笠松 裕太郎 (1 年・ 山 手)	明石 貴教 (1 年・ 常 磐)
19	鈴鹿高等学校 安達 正史	玉田 夢叶 (3 年・ 陽 和)	二宮 雄輝 (3 年・ 三 雲)	向井 崇章 (3 年・ 亀 山)	柴田 大暉 (3 年・ 神 戸)	平川 凌成 (3 年・ 神 戸)	東 昇平 (3 年・ 一 志)	矢澤 柊吾 (2 年・ 亀山中部)	仲 純汰 (1 年・ 山 手)
20	高田高等学校 緒方 美穂子	植田 琥南 (2 年・ 高 田)	緒方 健 (3 年・ 南が丘)	米川 陽希 (3 年・ 鼓ヶ浦)	吉田 湊 (3 年・ 厚 生)	田中 奏汰 (3 年・ 橋 南)	小坂 緋那斗 (3 年・ 高 田)	草川 音羽 (3 年・ 芸 濃)	中嶋 雅博 (2 年・ 久居東)
21	三重高等学校 浜田 義克	武田 宗大 (2 年・ 嬉 野)	田崎 寛舵 (2 年・ 尾 鷲)	田邊 聡一朗 (3 年・ 朝 陽)	杉原 琉仁 (3 年・ 高師台)	酒匂 健脈 (3 年・ 鯉 江)	後岡 成治 (3 年・ 神 戸)	平岡 青空 (2 年・ 西 和)	岸崎 恵照 (2 年・ 守山東)
22	皇學館高等学校 日々野 公輝	村上 尚寛 (2 年・ 鳥羽東)	若松 稜明 (3 年・ 倉田山)	荒木 誉 (2 年・ 倉田山)	西村 勇我 (3 年・ 大 宮)	黒宮 諒 (3 年・ 御 薗)	上田 開斗 (1 年・ 玉 城)	(年・)	(年・)
23	鈴鹿工業高等専門学校 南部 智憲	松本 航平 (1 年・ 八 幡)	工藤 湊翔 (1 年・ 一 志)	阿部 賢悦 (3 年・ 山 手)	伊藤 桔平 (1 年・ 陵 成)	大塚 直太朗 (3 年・ 近 衛)	(年・)	(年・)	(年・)
24	伊賀白鳳高等学校 玉置 亮太	青木 陸 (1 年・ 名張南)	小阪 宗樹 (1 年・ 崇 広)	中森 康介 (1 年・ 上野南)	佐藤 カイケ (1 年・ 崇 広)	長井 椋吾 (3 年・ 緑ヶ丘)	(年・)	(年・)	(年・)
25	尾鷲・桜丘・伊勢学園 荒武 敏志	(年・)	唐澤 一颯 (1 年・ 桜 丘)	村上 泰輝 (3 年・ 鎌 田)	村田 樹希翔 (3 年・ 尾 鷲)	岡 稜介 (3 年・ 尾 鷲)	(年・)	(年・)	(年・)
26	津工業・松阪工業・木本 野村 昭暢	(年・)	西山 逢叶 (1 年・ 一 志)	戸嶋 悠太 (3 年・ 御 浜)	紀平 拓夢 (3 年・ 橋 南)	金森 貴哉 (3 年・ 橋 北)	(年・)	(年・)	(年・)

女子団体 登録選手

	学校名／監督	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補欠	補欠	補欠
1	桑名高等学校 大橋 美和	鈴木 詩乃 (2 年・ 富洲原)	大下 もも (3 年・ 員 弁)	藤田 千晴 (2 年・ 大 安)	大内 柚乃 (3 年・ 朝 明)	小菌 舞波 (2 年・ 亀 山)	高橋 朋花 (3 年・ 光 風)	新屋 奈緒子 (1 年・ 東員第二)	松本 瑠璃 (2 年・ 陵 成)
2	いなべ総合学園高等学校 岩出 和樹	(年・)	(年・)	山崎 埜乃 (1 年・ 菰 野)	松崎 小梅 (2 年・ 北 勢)	金澤 有紗 (2 年・ 陵 成)	(年・)	(年・)	(年・)
3	四日市高等学校 日沖 純也	永井 杏 (2 年・ 橋 北)	野村 綾花 (2 年・ 東員第一)	白山 結莉子 (2 年・ 明 正)	稲吉 里奈 (2 年・ 光 陵)	兼光 菖芽 (3 年・ 千代崎)	福田 愛実 (1 年・ 橋 北)	(年・)	(年・)
4	四日市南高等学校 西 康平	中泉 ひかり (3 年・ 笹 川)	伊藤 光里 (2 年・ 笹 川)	井上 真菜 (2 年・ 菰 野)	原 小晴 (3 年・ 大 池)	北島 瑞穂 (3 年・ 富 田)	草香 歩実 (1 年・ 神 戸)	(年・)	(年・)
5	四日市工業高等学校 吉田 裕二	實平 幸乃香 (1 年・ 亀山中部)	金次 未依奈 (2 年・ 四日市南)	渡部 琴羽 (1 年・ 山 手)	松平 花凜 (1 年・ 亀山中部)	笹山 楓香 (3 年・ 内 部)	松田 歩夢 (2 年・ 白 鳥)	前田 月季花 (2 年・ 笹 川)	渡辺 栞菜 (1 年・ 亀 山)
6	神戸高等学校 沢田 貴昭	辻 尚華 (3 年・ 塩 浜)	森 禾永 (2 年・ 常 磐)	松井 里穂 (2 年・ 一身田)	青木 萌々香 (3 年・ 常 磐)	伊藤 埜 (3 年・ 常 磐)	浜口 純寧 (2 年・ 鼓ヶ浦)	石原 綾姫 (2 年・ 白 鳥)	(年・)
7	白子高等学校 玉置 亮	倉田 若葉 (2 年・ 大 木)	藪井 花梨 (1 年・ 名張北)	海道 絢 (2 年・ 陵 成)	高岡 紅麗亜 (2 年・ 陽 和)	大西 梨央 (3 年・ 三 雲)	北村 美咲 (2 年・ 久居東)	高橋 はな (2 年・ 玉 城)	玉田 心夢 (2 年・ 正 和)
8	津高等学校 小西 大亮	渡邊 優楓 (3 年・ 嬉 野)	守屋 京佳 (3 年・ 附 属)	大井 美波 (3 年・ 白 子)	守田 千紘 (2 年・ 橋 北)	向山 みわ (3 年・ 橋 北)	小川 華 (1 年・ 久居東)	久納 珠実 (1 年・ 久居東)	長谷川 真子 (1 年・ 久居東)
9	津西高等学校 寺下 伸	岡本 栞奈 (2 年・ 名張南)	辻村 鈴湖 (2 年・ 玉 城)	中川 真那 (3 年・ 青 山)	橋本 花奈 (3 年・ 青 山)	森田 瑚都 (3 年・ 鎌 田)	植田 遙 (3 年・ 名張北)	上山 奈桜 (3 年・ 西 郊)	高山 帆花 (2 年・ 青 山)
10	久居農林高等学校 田中 美奈子	(年・)	中井 陽菜 (3 年・ 鎌 田)	内田 亜梨愛 (2 年・ 明 和)	櫻井 美月 (2 年・ 久居東)	岩波 響鳴 (2 年・ 久居東)	(年・)	(年・)	(年・)
11	伊勢高等学校 服部 壮汰	池谷 玲佳 (3 年・ 小 俣)	中西 奏良音 (2 年・ 桜 浜)	池谷 葵 (3 年・ 小 俣)	岡 知果 (2 年・ 小 俣)	川井 奏世子 (3 年・ 久 保)	山中 花恋 (3 年・ 小 俣)	北川 莉依子 (1 年・ 明 和)	濱井 桃花 (1 年・ 倉田山)
12	宇治山田商業高等学校 岩本 勇哉	(年・)	(年・)	掛橋 如乃 (3 年・ 五十鈴)	大西 花佳 (2 年・ 厚 生)	西村 有美香 (2 年・ 厚 生)	(年・)	(年・)	(年・)
13	上野高等学校 矢田 祥子	(年・)	永井 愛望 (2 年・ 緑ヶ丘)	富田 彩晴 (2 年・ 柘 植)	芦田 志帆 (1 年・ 赤 目)	栗野 真央 (3 年・ 崇 高)	(年・)	(年・)	(年・)
14	名張高等学校 山本 泰之	(年・)	仲 梨恋 (1 年・ 赤 目)	吉留 楓菜 (2 年・ 赤 目)	畑中 美来 (3 年・ 赤 目)	前田 みなみ (3 年・ 北)	(年・)	(年・)	(年・)
15	津田学園高等学校 曽我 彰信	(年・)	(年・)	舟橋 杏侑乃 (1 年・ 菰 野)	平田 玖麗亜 (2 年・ 陵 成)	中村 莉子 (3 年・ 菰 野)	(年・)	(年・)	(年・)
16	鈴鹿高等学校 安達 正史	野口 愛莉 (3 年・ 一身田)	小嶋 奈瑠 (3 年・ 白 山)	喜多 柚妃 (2 年・ 神 戸)	安達 芽愛 (3 年・ 神 戸)	本島 美優 (3 年・ 富 雄)	濱崎 亜子 (2 年・ 神 戸)	東畑 瑠美 (2 年・ 嬉 野)	永戸 心望 (2 年・ 神 戸)
17	高田高等学校 緒方 美穂子	岡山 歩乃果 (3 年・ 東 観)	渡邊 七菜子 (2 年・ 亀 山)	飯田 花菜 (2 年・ 白 山)	久保 日佳莉 (2 年・ 嬉 野)	淺生 実由 (3 年・ 東 観)	大野 愛莉紗 (2 年・ 橋 北)	河野 七望 (2 年・ 東 観)	小西 七奈 (1 年・ 嬉 野)
18	三重高等学校 尾上 菜智	中瀬 栞 (3 年・ 一身田)	奥野 翠 (3 年・ 厚 生)	西村 彩 (2 年・ 近大豊岡)	別府 紗衣 (2 年・ 亀山中部)	八手又 柚羽 (2 年・ 嬉 野)	西村 仁那 (2 年・ 三 重)	國井 ひまり (1 年・ 一身田)	山下 心愛 (1 年・ 鎌 田)
19	川越・四日市農芸 岡村 昭弘	(年・)	(年・)	伊藤 優里 (2 年・ 大 池)	深草 果鈴 (2 年・ 山 手)	平野 里莉 (3 年・ 亀山中部)	(年・)	(年・)	(年・)
20	暁・海星 森 康輔	(年・)	(年・)	岩本 花優 (3 年・ 大 安)	北川 希歩 (3 年・ 皇學館)	渡邊 悠羽璃 (3 年・ 暁)	(年・)	(年・)	(年・)
21	津工業・名張青峰 野村 昭暢	(年・)	(年・)	石田 麻菜美 (3 年・ 千代崎)	畠山 結衣 (3 年・ 名張南)	柿坂 光莉 (3 年・ 名張南)	(年・)	(年・)	(年・)
22	鈴鹿高専・亀山 南部 智憲	(年・)	(年・)	中瀬 咲希 (2 年・ 多 気)	嶋本 華奈 (2 年・ 三重平)	住田 和泉 (3 年・ 鈴 峰)	(年・)	(年・)	(年・)

令和7年度三重県高校剣道春季大会 2 F 観客席配置図(座席指定)

令和7年4月27日(日)

四日市工業	四日市工業	高田	高田		久居農林 桜丘 伊勢学園	津田学園 名張青峰 尾鷲	名張 山商 松阪工業	伊賀白鳳 伊勢工業 木本		海星	桑名	桑名	神戸	
皇學館													神戸	
いなべ総合													鈴鹿	
伊勢													鈴鹿	
四日市													三重	
津													三重	
暁													白子	
四日市南													白子	
川越													津西	
上野	鈴鹿高専	桑名西 四日市農芸 津工業		階段						階段		自由席	自由席	津西
</														

大会記録速報

大会記録をリアルタイム（約５分おきに更新）で確認できます。

三重県高体連剣道専門部のホームページから、
今大会のページにアクセスしてください。

三重県高体連剣道専門部ホームページ

<https://mie-koutairen.jp/kendo/>



記録は生徒による係で行っています。

また、インターネット接続不良等でご覧いただけない場合があります。

予めご了承ください。

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



UNIVAS